



2014年3月期 第2四半期 決算説明会

2013年10月31日
株式会社デンソー

1. 上期は、北米での車両生産の増加や、円安効果により、
増収増益

2. 下期の為替や車両生産を見直し、通期業績予想を上方修正

3. 配当は、中間配当は47円(当初予想34円)

2014年3月期 第2四半期 連結決算

02 / 23

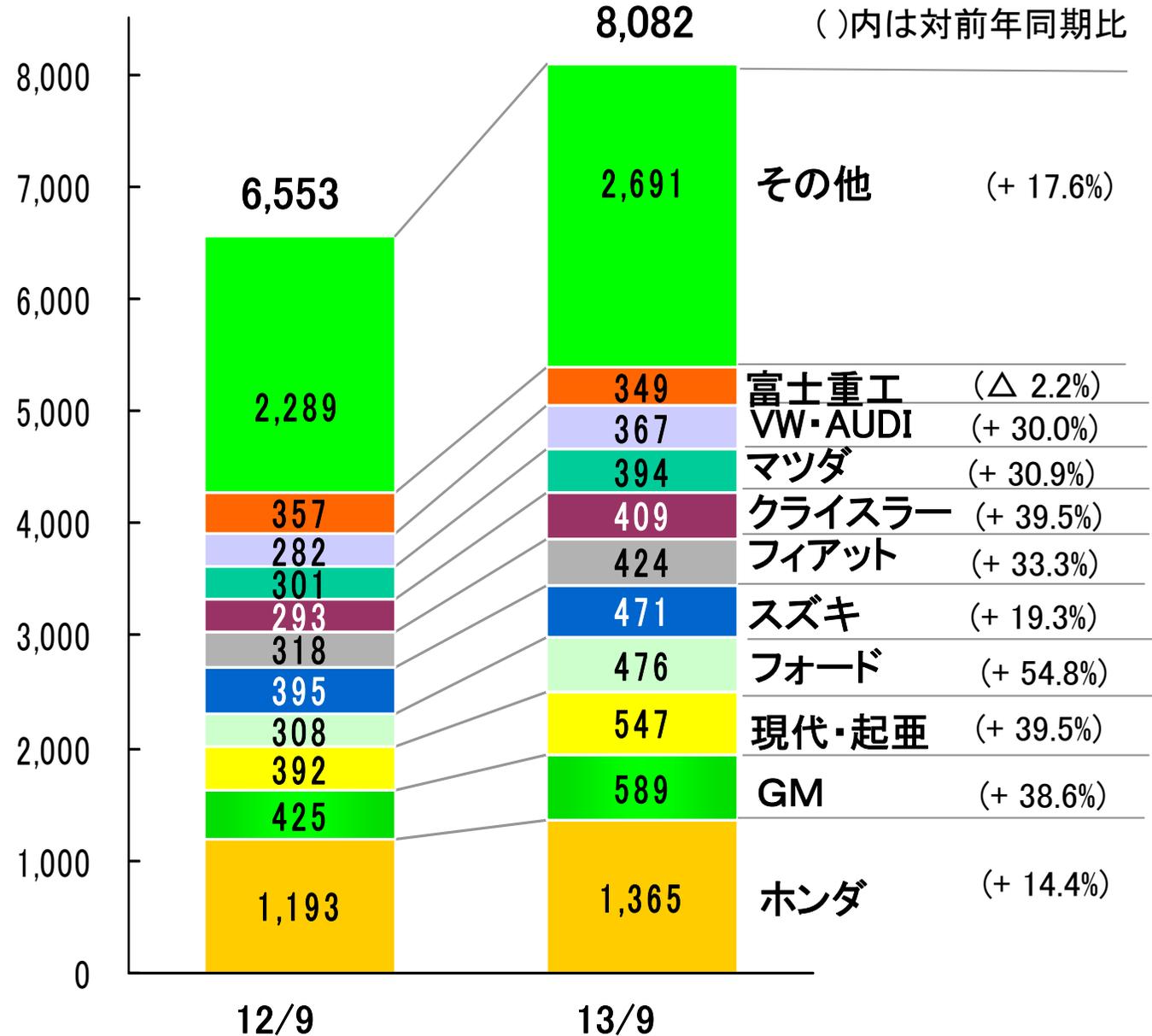
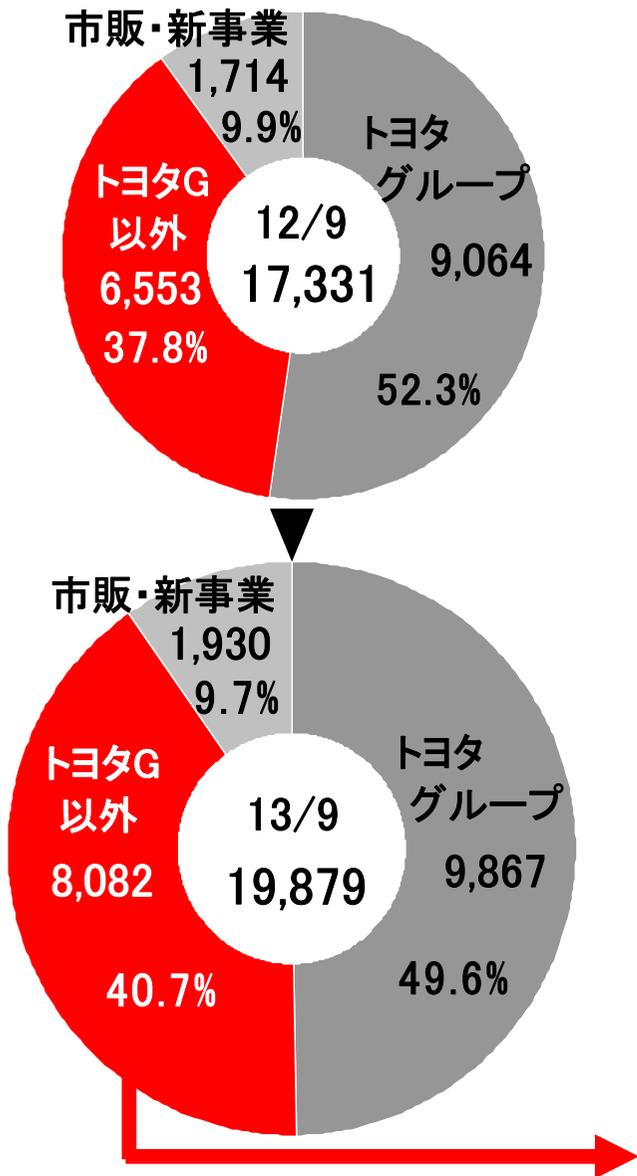
()内は売上高比

【単位:億円】

	1Q時予想	13/9期実績	12/9期実績	増減額	増減率
売上高	19,730	19,879	17,331	+2,547	+14.7%
営業利益	(9.0%) 1,780	(9.7%) 1,922	(7.9%) 1,363	+559	+41.0%
経常利益	(9.9%) 1,950	(10.8%) 2,146	(8.6%) 1,492	+654	+43.8%
税引前利益	(9.9%) 1,950	(10.8%) 2,146	(7.9%) 1,374	+772	+56.2%
当期純利益	(6.9%) 1,370	(7.5%) 1,501	(4.5%) 781	+720	+92.2%
為替レート	98円/ドル 128円/ユーロ	99円/ドル 130円/ユーロ	79円/ドル 101円/ユーロ	20円 円安 29円 円安	
国内車両生産	454万台	453万台	470万台	-17万台	-3.6%
海外日系車生産 (内、北米)	865万台 (268万台)	869万台 (266万台)	830万台 (247万台)	+39万台 (+19万台)	+4.7% (+7.7%)

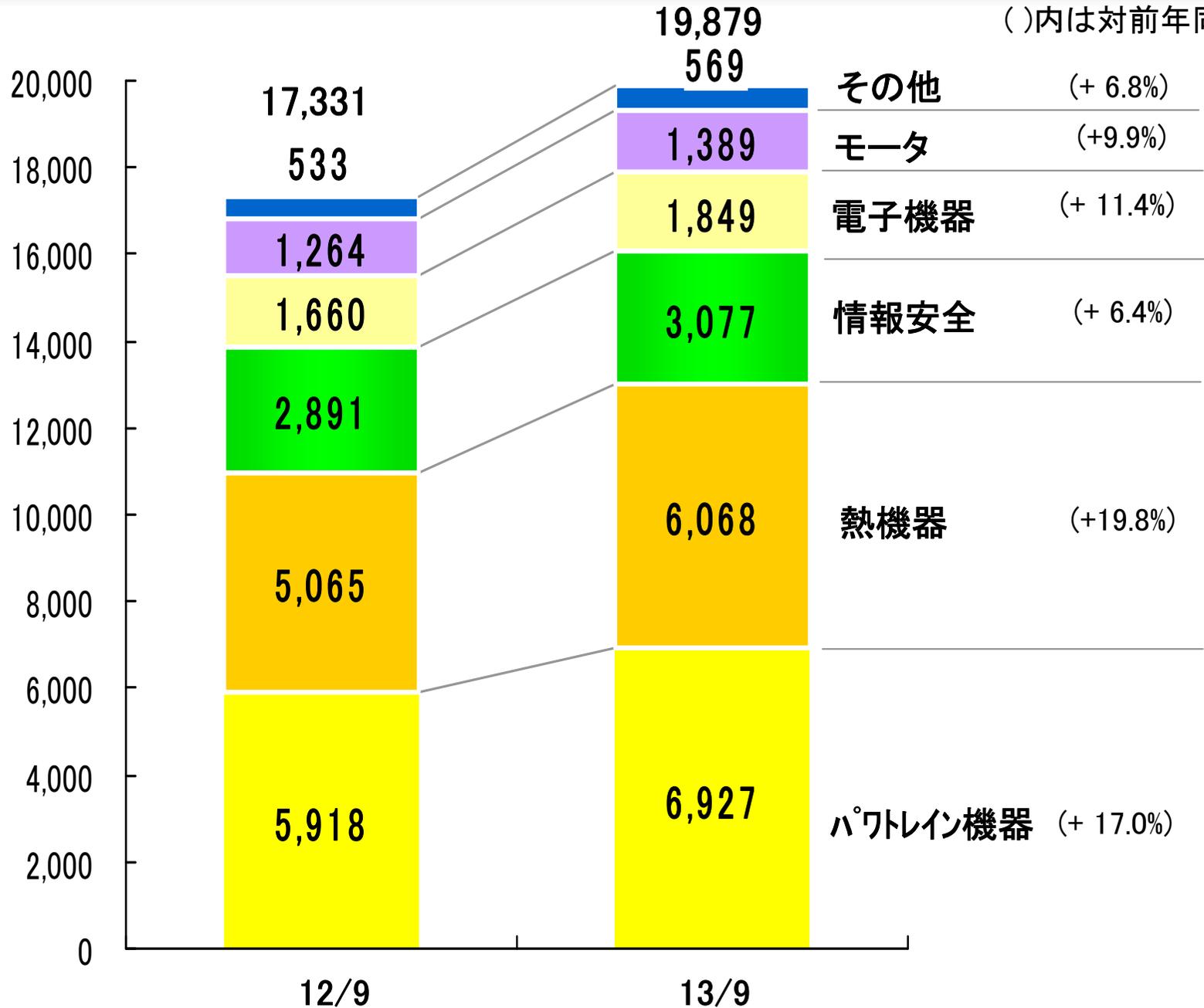
得意先別

【単位：億円】 トヨタグループ外(OEM) 得意先別売上

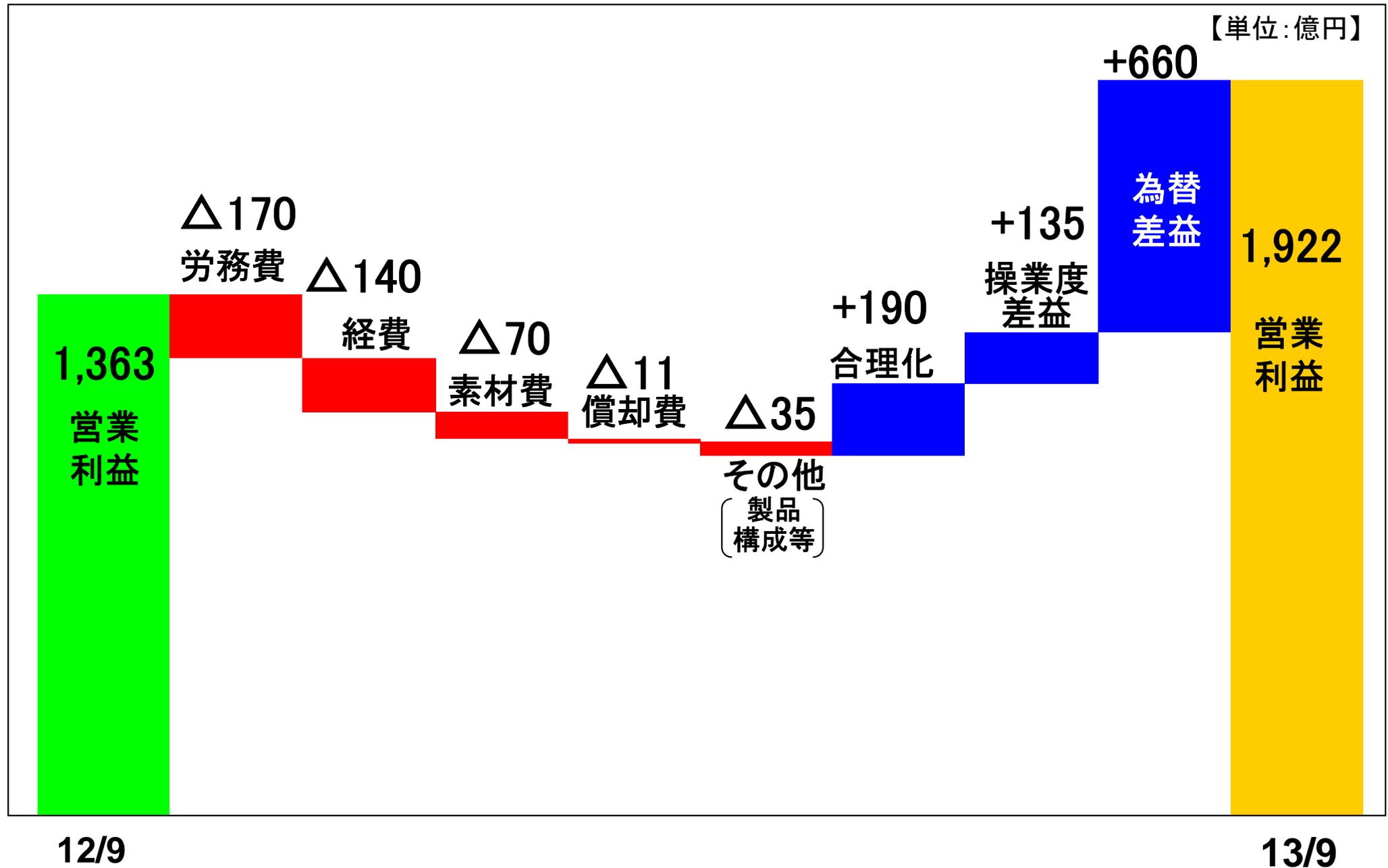


製品別

【単位：億円】



2014年3月期 第2四半期 営業利益増減要因(前年比)

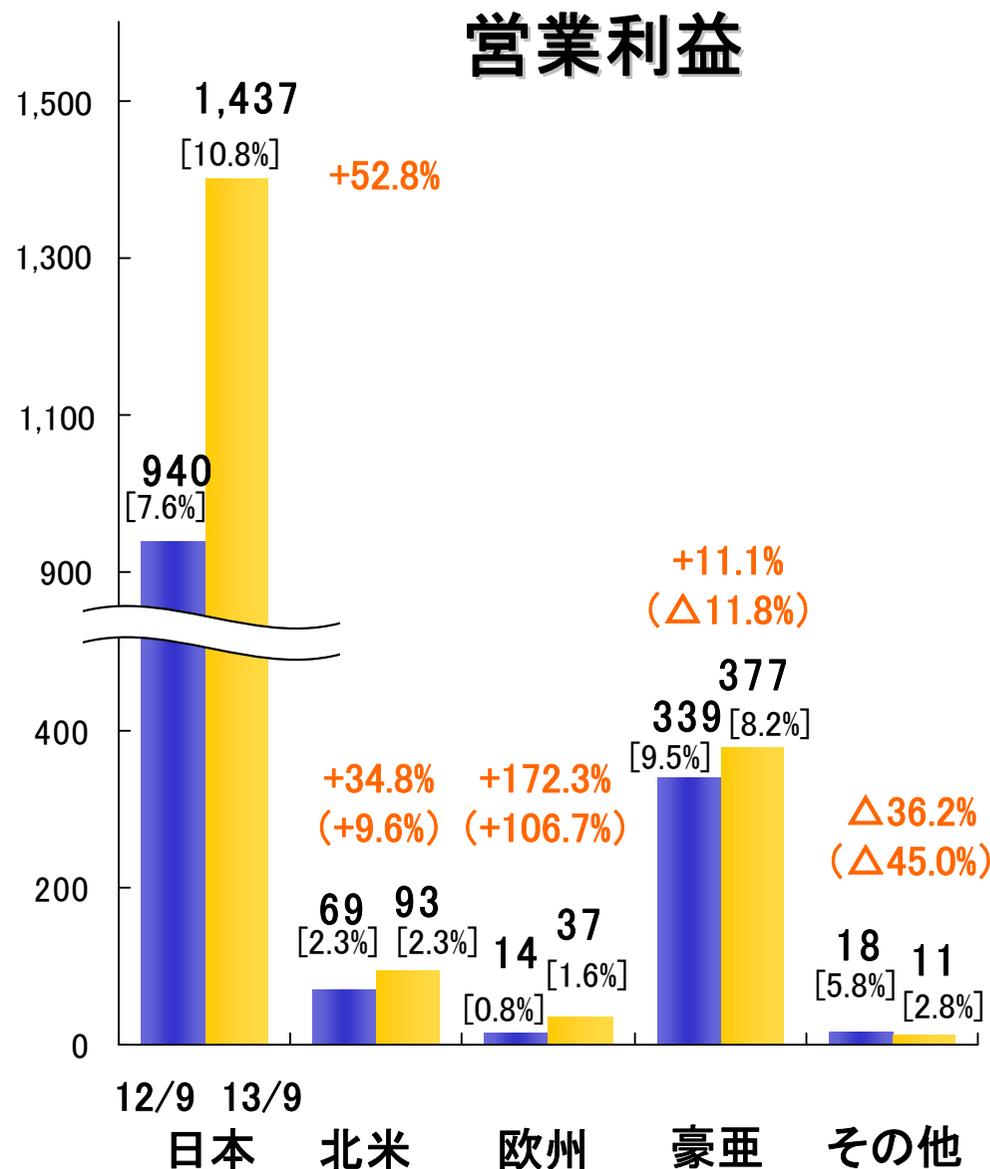
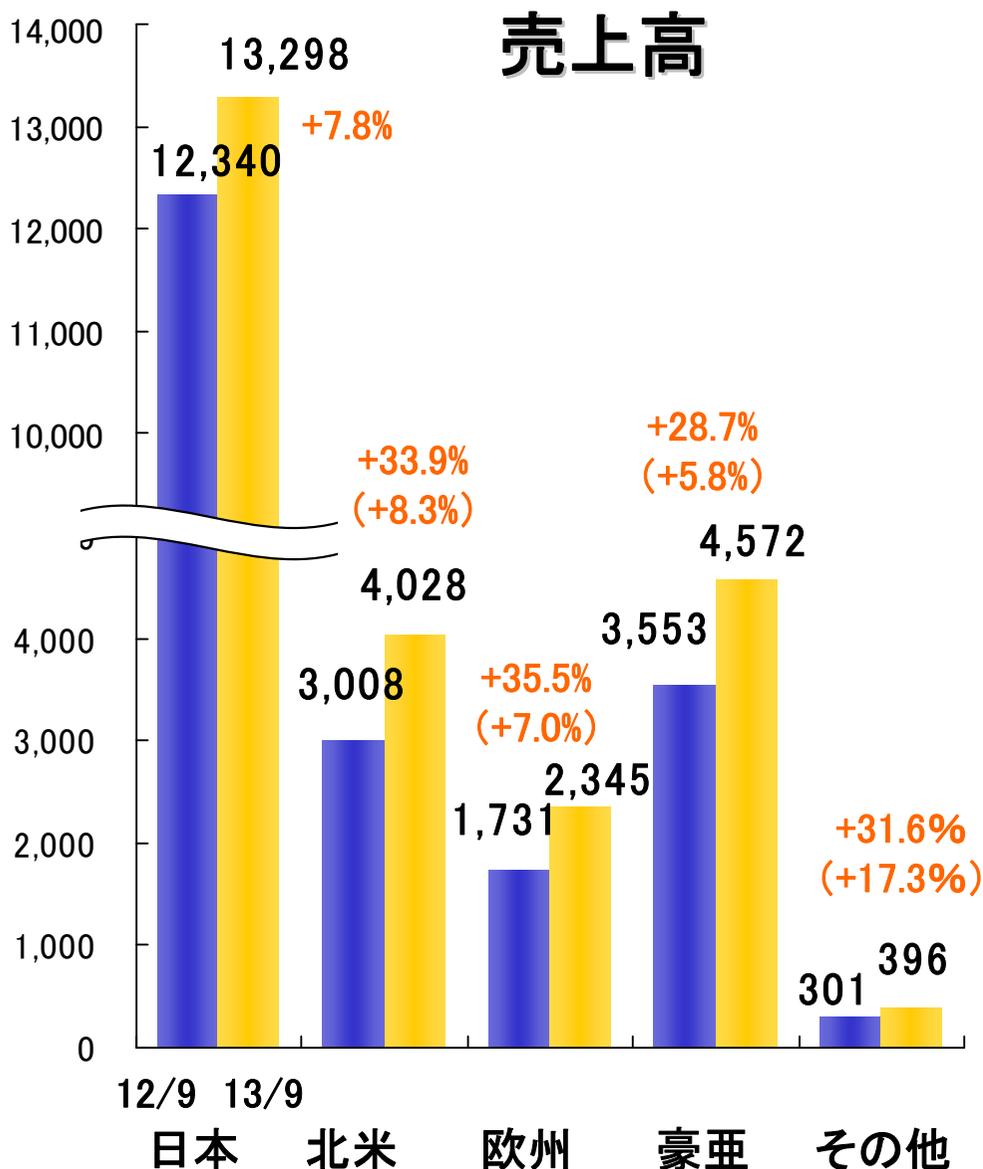


2014年3月期 第2四半期 所在地別セグメント情報(前年比)

【単位:億円】

※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は売上高比



2014年3月期 通期予想

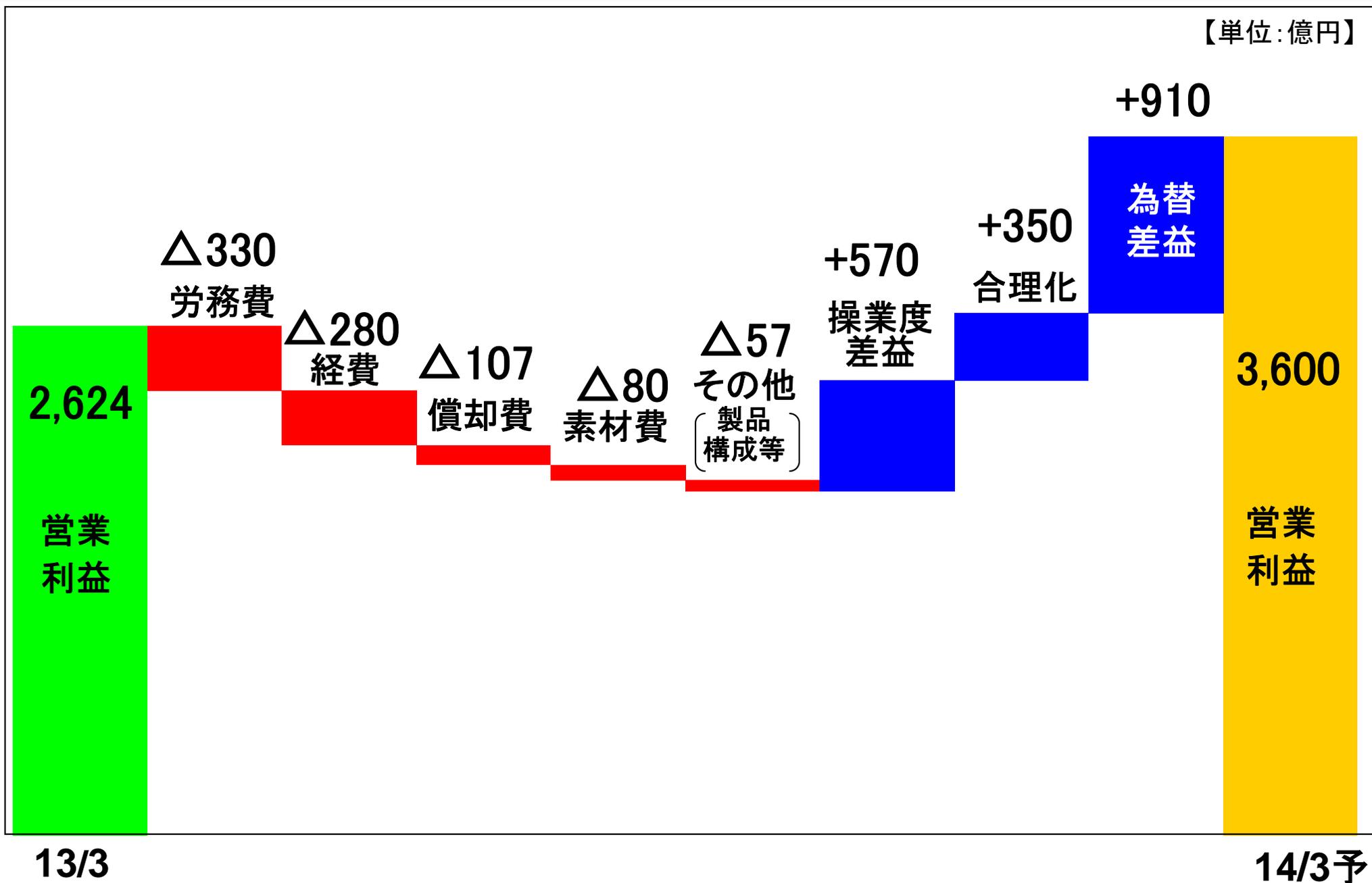
()内は売上高比

【単位:億円】

	1Q時予想	14/3期最新	13/3期実績	増減額	増減率
売上高	38,900	40,100	35,809	+4,291	+12.0%
営業利益	(8.6%) 3,350	(9.0%) 3,600	(7.3%) 2,624	+976	+37.2%
経常利益	(9.3%) 3,610	(9.8%) 3,910	(8.3%) 2,960	+950	+32.1%
税引前利益	(9.3%) 3,610	(9.8%) 3,910	(7.9%) 2,819	+1,091	+38.7%
当期純利益	(6.3%) 2,440	(6.6%) 2,640	(5.1%) 1,817	+823	+45.3%
為替レート	94円/ドル 124円/ユーロ	97円/ドル 130円/ユーロ	83円/ドル 107円/ユーロ	14円 円安 23円 円安	
国内車両生産	914万台	945万台	913万台	+32万台	+3.5%
海外日系車生産 (内、北米)	1,769万台 (554万台)	1,773万台 (546万台)	1,663万台 (502万台)	+110万台 (+44万台)	+6.6% (+8.8%)

2014年3月期 通期予想 営業利益増減要因(前年比)

【単位:億円】



13/3

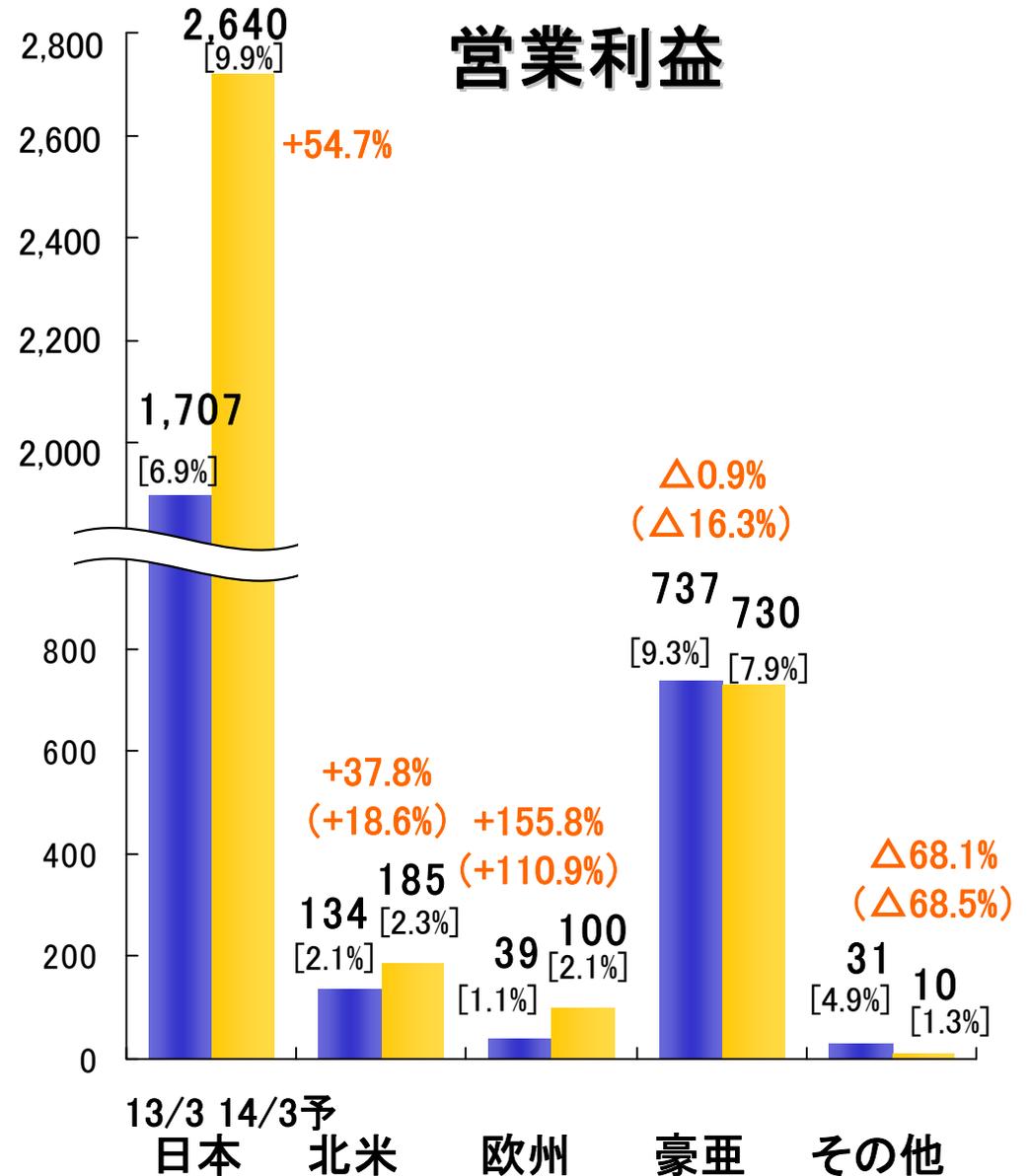
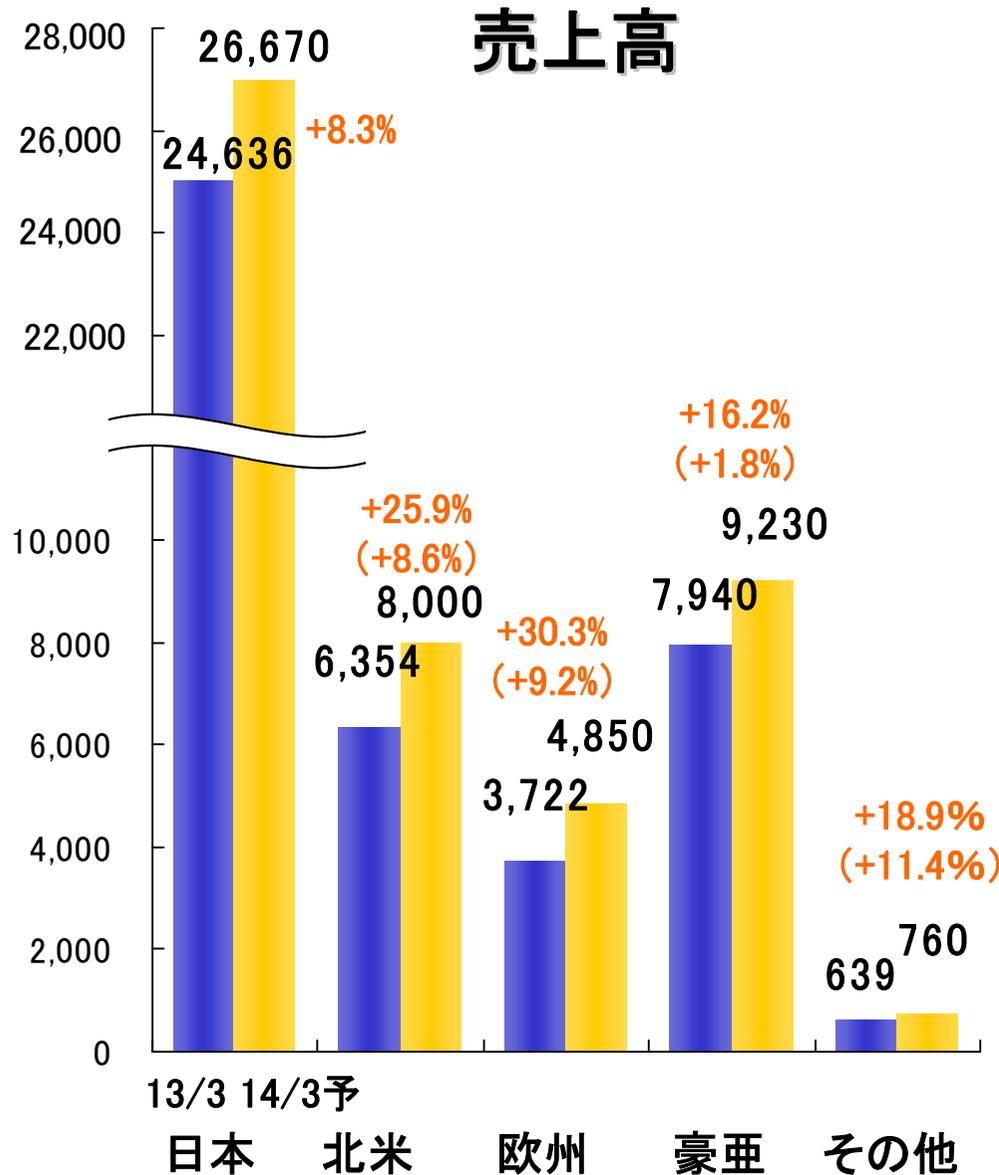
14/3予

2014年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比)

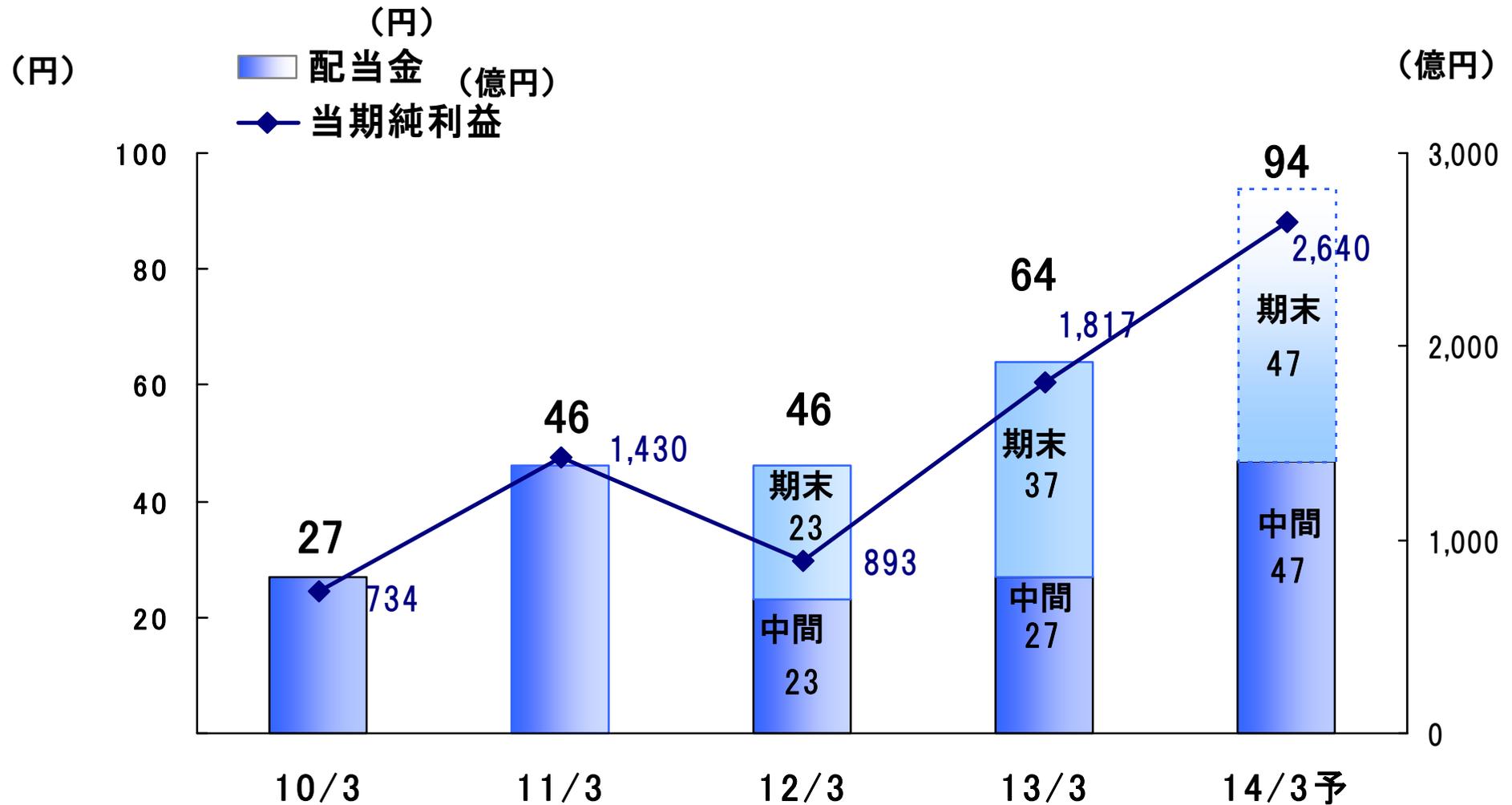
【単位：億円】

※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は売上高比



中間配当：1株につき47円、年間配当：94円（予定）



1. 2015年グローバル中期方針

2. 取り組み

- (1) 成長を支える技術開発(省燃費)
- (2) // (予防安全)
- (3) // (情報通信)
- (4) グローバル開発・生産体制
- (5) 新事業への取り組み

デンソーグループ・グローバル中期方針

1. 持続的成長に向けた事業拡大へのチャレンジ

- (1) 顧客(カーメーカ)との関係深化と
成長する新興国市場での事業拡大
- (2) 車の魅力向上に繋がるシステム商品の創出
- (3) 市販事業の拡大と新事業の育成

2. 世界初を生み出し続ける企業への進化

- (1) 世界初にこだわる商品開発力の向上
- (2) ダントツのコスト競争力を持つ
グローバル調達・生産・供給体制の構築

3. グローバルな総智総力の発揮とスピード経営の実現

- (1) デンソーグループ12万人の総智総力の結集
- (2) スピード第一で行動する職場・風土への変革

15年目標 “売上高4兆円” “営業利益率8%”

燃費改善・CO2削減に向けたパワートレイン技術

小型化

低燃費の小型車
部品の小型軽量化

電動化

ハイブリッド・電気自動車

システム化

システム間連携による省燃費

➤ 内燃機関エンジンの高効率化

- ・ガソリン直噴
- ・ディーゼルコモンレール



直噴高圧ポンプ

➤ アイドルストップシステムの対応

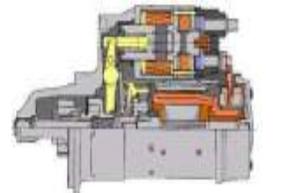
- ・スタータの始動性/耐久性向上
- ・省燃費システム



コモンレールシステム

➤ ハイブリッド製品の小型/軽量化

- ・インバータ
- ・モータジェネレータ



タンデムソレノイドスタータ

事例



インバータ

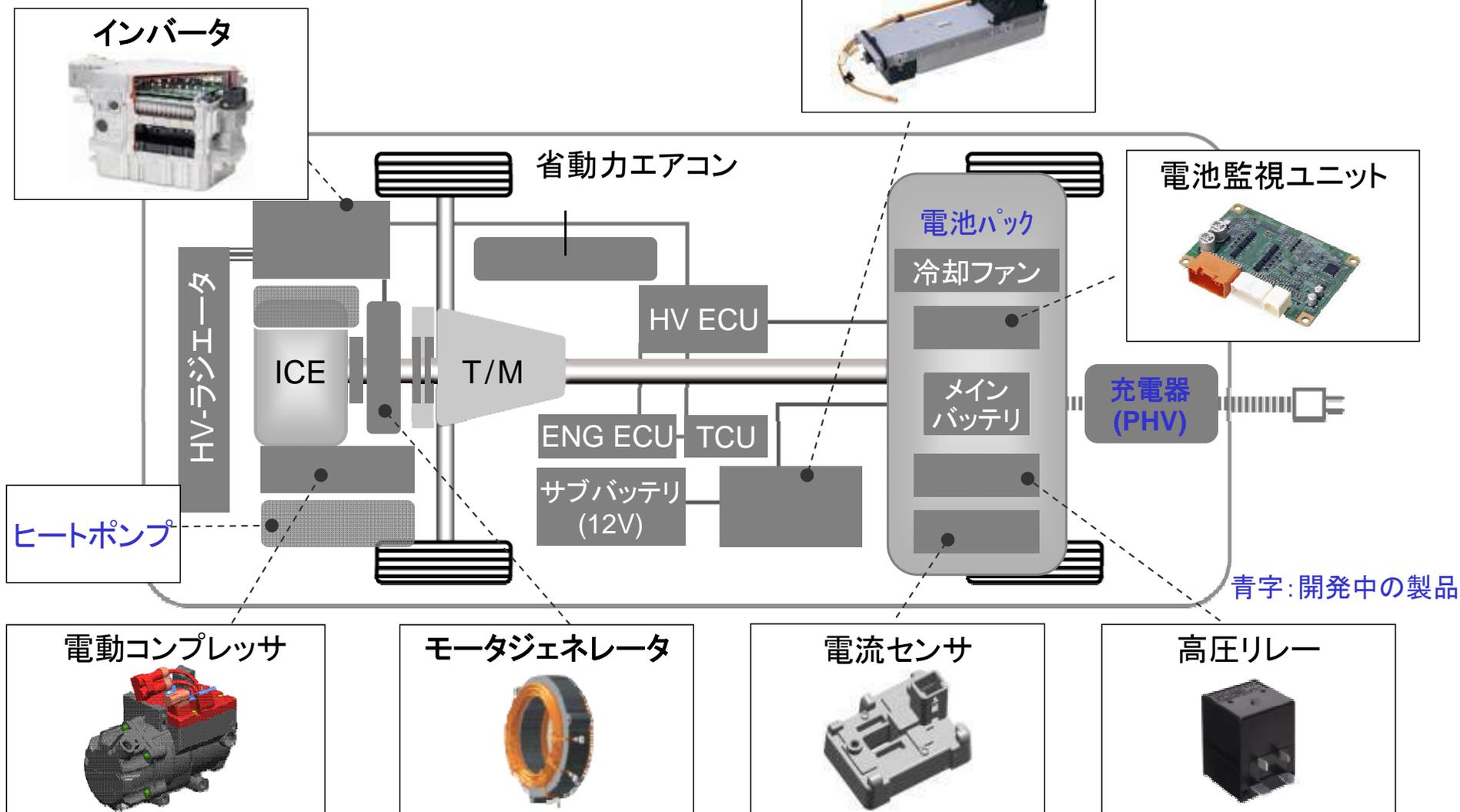
➤ 車全体のエネルギーマネジメント

- ・熱・電カマネジメント



モータジェネレータ

ハイブリッド車製品の小型・軽量化

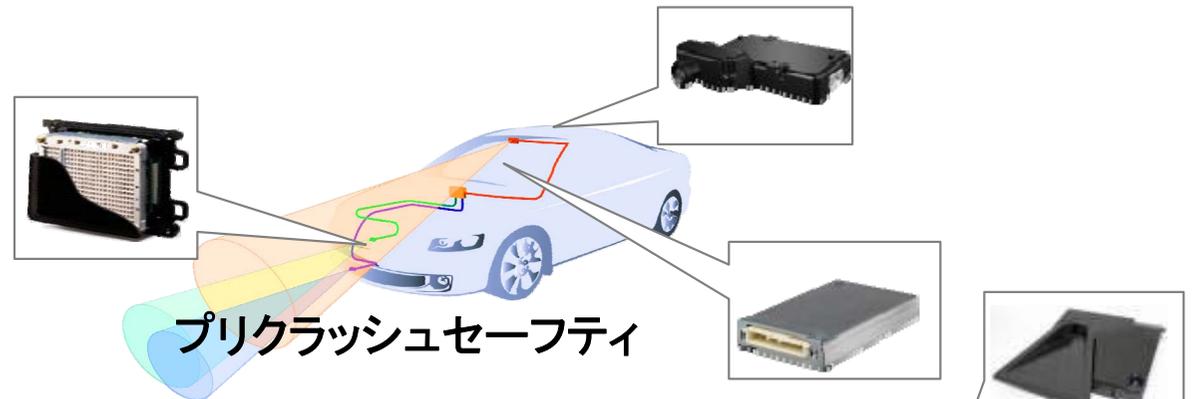


トヨタ(レクサス、クラウン等)に加え 他社でも間もなく採用予定

安心・安全分野の技術開発

もしもの安全

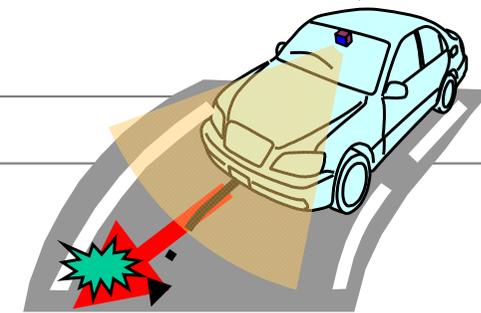
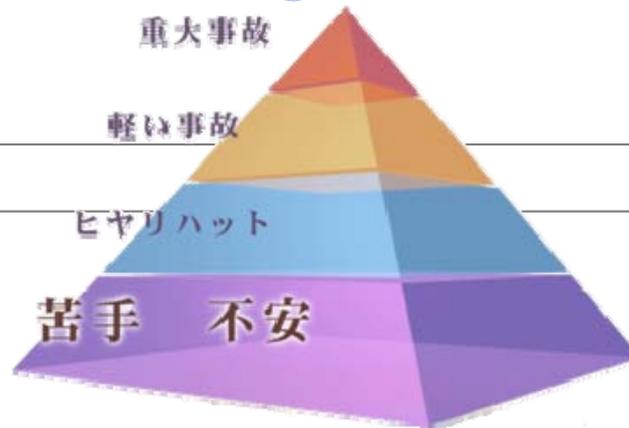
緊急時に危険回避
(万一衝突時は被害軽減)



重大事故
軽い事故

いつもの安心

通常時にドライバーの
心の余裕を育む



事故分析

法制化・自動車アセスメント動向

消費者ニーズ

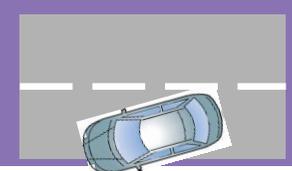
3つの予防安全パッケージを提案

Premium

衝突回避支援
(出合い頭)



路外逸脱防止



Standard

衝突回避支援
(前方車両)
(歩行者)



車線逸脱防止



全車速ACC



Entry

速度支援



夜間視界支援



低速衝突回避支援
(前方車両)



車線逸脱警報



情報と安心を両立できるIVIシステム

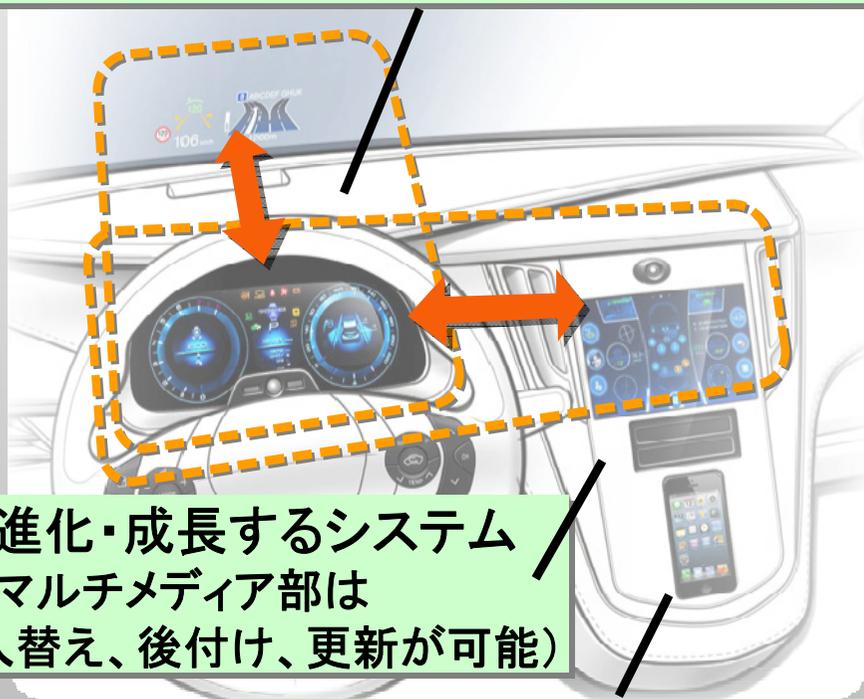
*IVI: In-Vehicle Information

*HMI: Human Machine Interface

環境変化により情報量が急激に増加 → 情報と安全の両立が必要

【システムの特長】

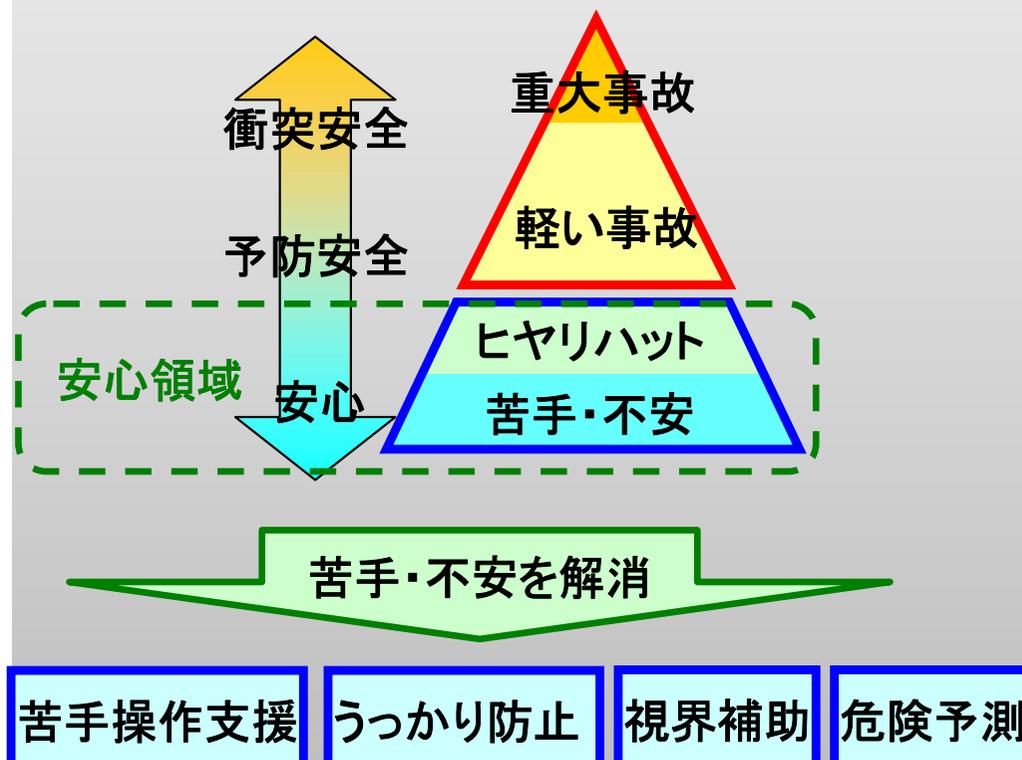
①コックピットでは運転状況を把握でき、
運転中も安全な楽しさと使いやすさを提供



②進化・成長するシステム
(マルチメディア部は
入替え、後付け、更新が可能)

③最先端のIT機器がツナガル

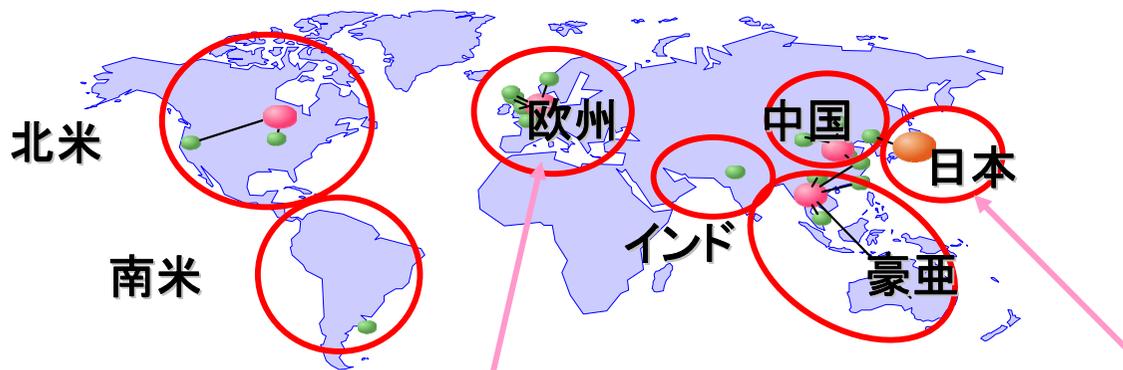
【提供する安心サービス】



ナビゲーションの再定義 → クルマの楽しさと安心を支援するコンピュータへ

コアテクニカルセンター(T/C)とサテライト拠点

コアT/C	日本	北米 ミシガン	欧州 ドイツ(アーヘン)	豪亜 タイ(バンコク)	中国 上海	インド デリー	南米 サンタバーバラ
サテライト 拠点	国内G会社 韓国	テネシー、 カルフォルニア	イギリス、 イタリア、チェコ スウェーデン	ベトナム、フィリピン、 オーストラリア他	華北、西安、 華南、台湾	—	—



ドイツ(アーヘン)



- ・現地顧客向け設計を強化し、顧客ニーズに迅速に対応
- ・欧州発の先行開発を推進し、他地域の技術開発にも貢献

ドイツ(ミュンヘン)



東京(設計開発拠点)

- ・車載半導体回路の設計開発を設置

ドイツ(アダセンス社)

- ・先進予防安全に関わる画像認識技術を開発

世界7地域で地域最適製品の設計を強化
北米・欧州は研究開発拠点の役割を強化

2013年度 設備投資計画

2,800億円 (前年比+494,+21%)
(期初公表比+200)

- ・日本 1,310 (+67)
- ・北米 390 (+185)
- ・欧州 220 (+29)
- ・豪亜 800 (+174)
- ・その他 80 (+39)

メキシコ<シラオ工場> 拡張

投資額 : 約107億円
生産製品 : 2013年10月～ カーエアコン
2014年10月～ オルタネータ
従業員数 : 拡張後 850人(2015年計画)
面積 : 拡張後 56,200㎡(建屋面積)



グローバルネットワーク
218社
(38の国と地域)

インドネシア<第3工場>

投資額 : 約94億円
生産開始 : 2014年2月
従業員数 : 1,300人(2016年3月計画)
面積 : 建屋面積24,000㎡
業務内容 : エンジンECU、VCT、スタータ、オルタネータの製造



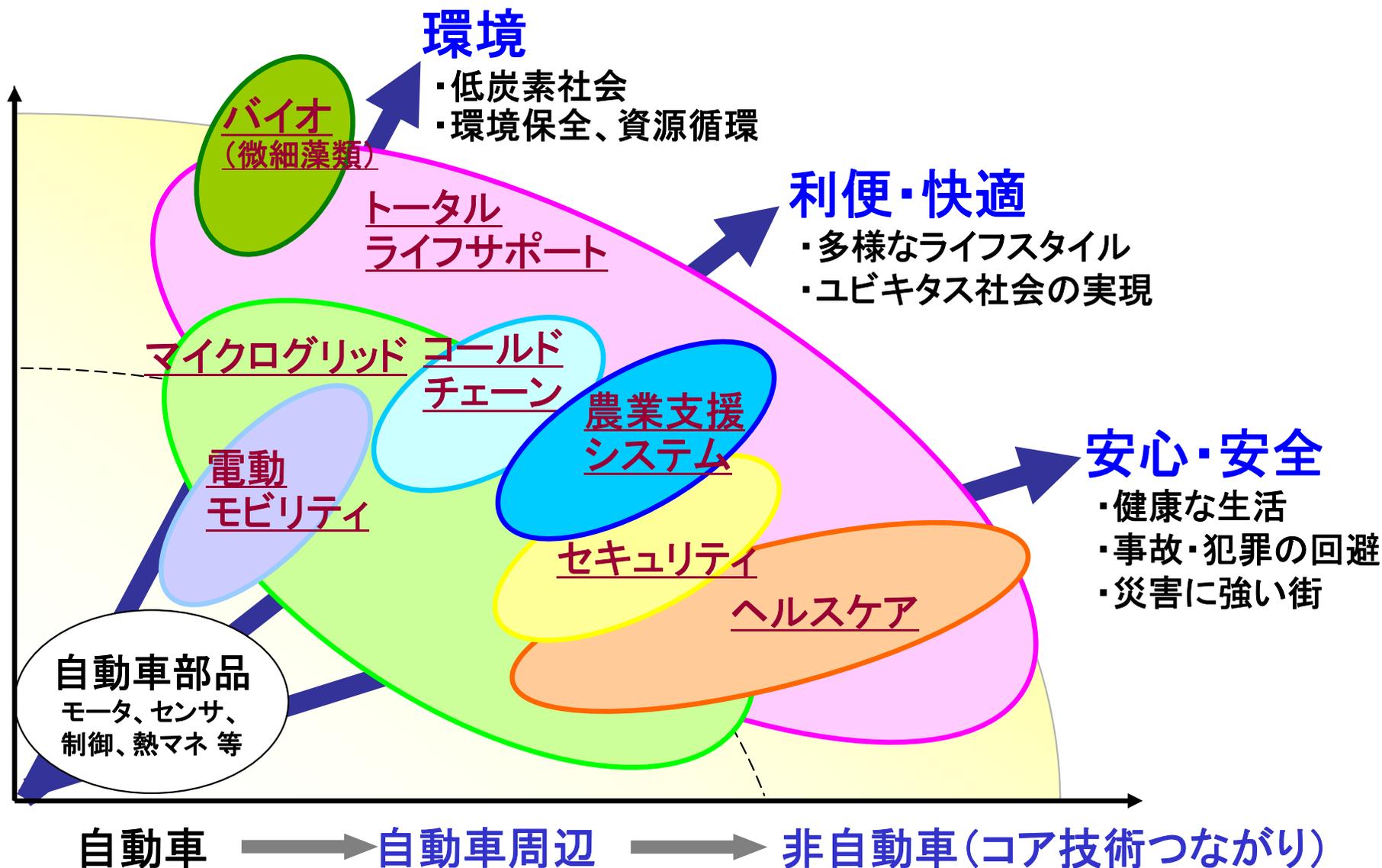
主な新設生産拠点

カンボジア (2013年7月～)
・マグネット用センサーの生産
ミャンマー (2014年1月～)
・小型モーターの生産

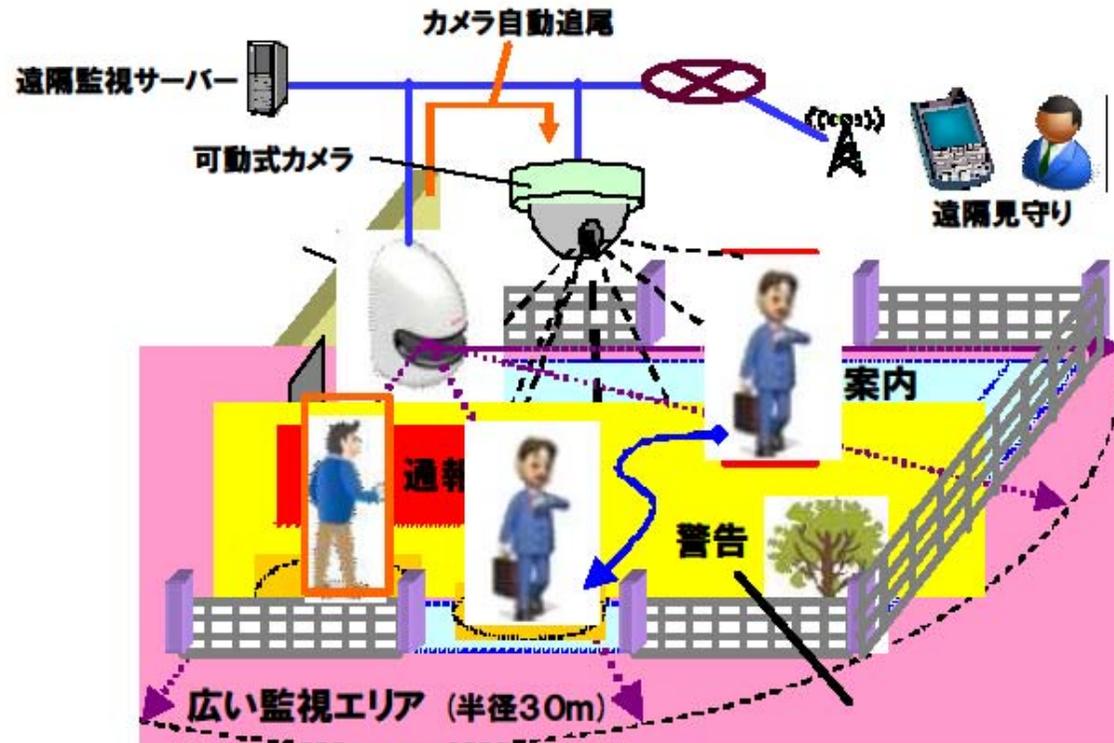
グローバルに生産体制を拡充

2013年9月31日現在

自動車部品で培ってきた技術をベースに、人々の生活に密接し、必要なサービスを・必要な時に・必要なだけ享受できる社会作りを目指す



【セキュリティ】 遠隔見守りシステム ZONE D



- ・レーザーで侵入者を検知し、カメラと連動して侵入者を見失わずに自動追尾
- ・被害を未然に防ぐ、警告・威嚇
- ・スマートフォンやタブレットで遠隔確認・操作
- ・見守りのみならず、店舗での来客認識による業務支援としても活用可能

【コールドチェーン】 海上コンテナ用冷凍機

- ・冷凍車用の冷凍機で培った技術を活用し、
コンテナ分野で世界有数の事業者である
中国国際海運コンテナ(集団)有限公司と共同で、
海上コンテナ用の冷凍機を開発
- ・業界初の2コンプレッサーシステムを採用し、
2インバーターによる独立回転数制御により、
他社品に比べ、きめ細かな温度制御と、
大幅な省燃費(▲20～50%)を実現



輸送コスト削減と食流通の安心安全に貢献

地球と生命^{いのち}を守り、
次世代に明るい未来を届けたい。



地球環境の維持

安心・安全

にこだわり、今後10年の私達の使命として取り組む

DENSO

- **2014年3月期 第2四半期(3ヶ月)**
所在地別セグメント情報(前年比)
- **単独決算概要**
- **前提となる為替レート／車両生産台数**
- **得意先別売上**
- **製品別売上**
- **設備投資・償却費・研究開発費**

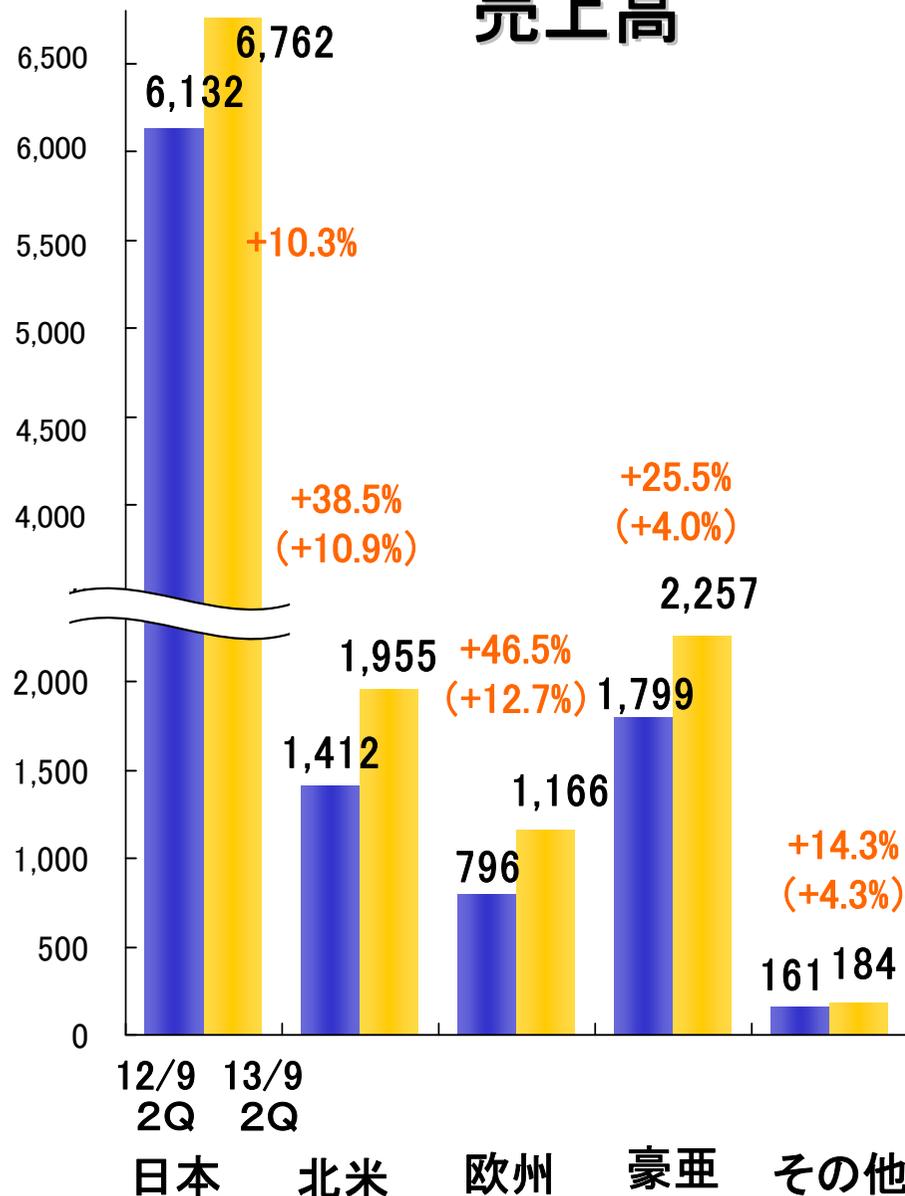
2014年3月期 第2四半期(3ヶ月) 所在地別セグメント情報(前年比)

【単位：億円】

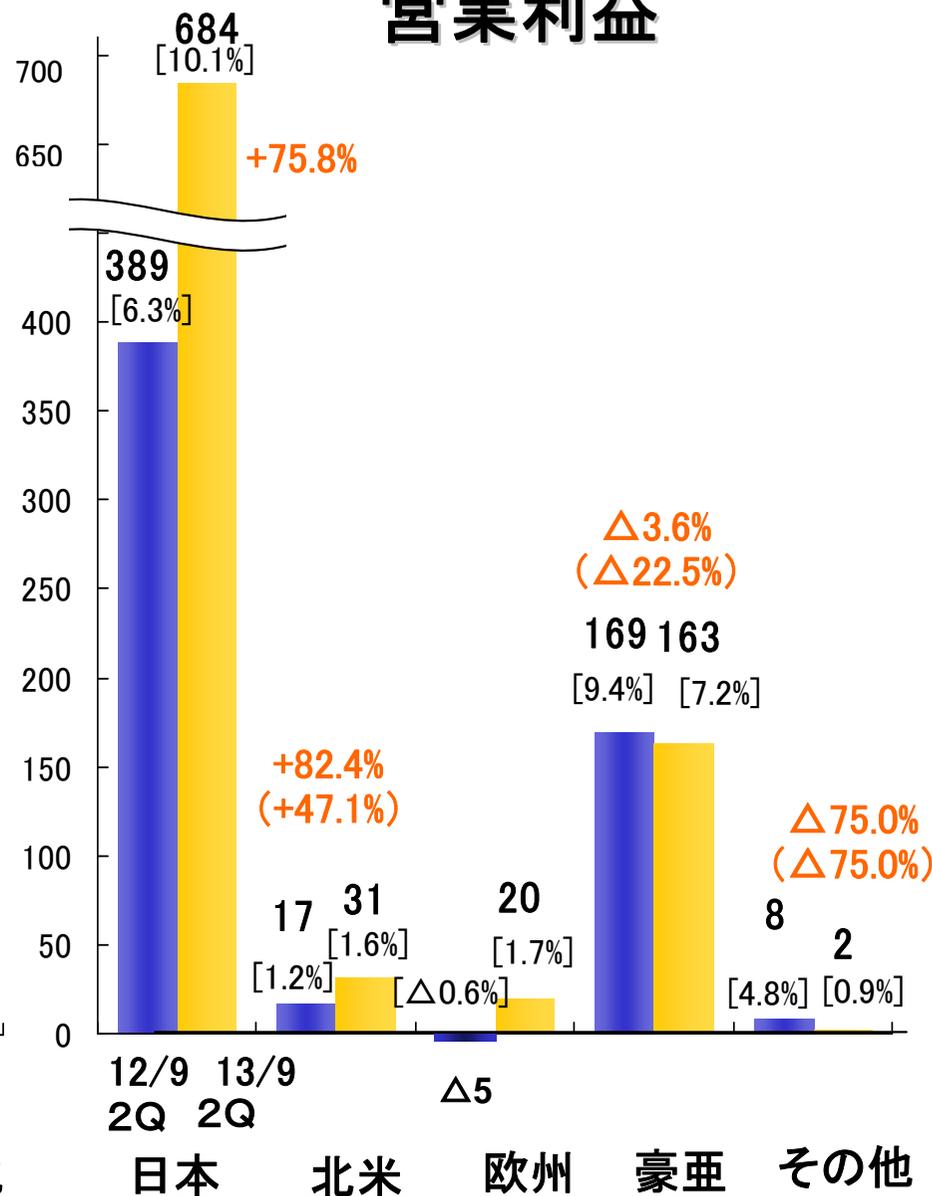
※増減は円貨ベースで表示
 ()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は営業利益率

売上高



営業利益



単独決算概要

損益計算書

()内は売上高比

【単位:億円, %】

科目	13/9期実績		12/9期実績		前年比		14/3期予想					
	増減額	増減率	増減額	増減率	13/6時予想	最新予想	増減額	増減率				
売上高	(100.0)	12,212	(100.0)	11,452	760	6.6	(100.0)	23,650	(100.0)	24,430	1,662	7.3
売上原価	(84.6)	10,330	(88.5)	10,135	195							
販売費及び一般管理費	(6.1)	741	(5.5)	635	106							
営業利益	(9.3)	1,141	(6.0)	682	458	67.2	(7.9)	1,880	(8.5)	2,070	834	67.4
営業外収益		522		411	111			620		680	△ 42	
経常利益	(13.6)	1,663	(9.5)	1,093	570	52.1	(10.6)	2,500	(11.3)	2,750	792	40.5
特別損益		0		△ 119	119			△ 1		0	△ 3	
税引前当期純利益	(13.6)	1,663	(8.5)	975	688	70.6	(10.6)	2,499	(11.3)	2,750	789	40.2
当期純利益	(10.7)	1,308	(5.7)	651	657	100.9	(7.8)	1,850	(8.3)	2,030	570	39.0

前提となる為替レート／車両生産台数

		上期					下期					14/3通期				
		前年実績	当初予想	1Q時予想	当年実績	前年比	前年実績	当初予想	1Q時 予想	最新予想	前年比	前年実績	当初予想	1Q時予想	最新予想	前年比
		為替レート (円)	USD	79	90	98	99	20円 円安	87	90	90	95	8円 円安	83	90	94
	EUR	101	120	128	130	29円 円安	114	120	120	130	16円 円安	107	120	124	130	23円 円安
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD											32	28	27	27	△ 5
	EUR											7	7	8	8	+1
日系車両生産 台数 (万台)	国内	470	444	454	453	△ 4%	443	460	460	492	+11%	913	904	914	945	+4%
	北米	247	273	268	266	+8%	255	285	285	280	+10%	502	558	554	546	+9%
	海外日系車	830	865	865	869	+5%	833	905	905	904	+9%	1,663	1,769	1,769	1,773	+7%

得意先別売上

【単位：億円，％】

区分	13/9期 実績(累計)		12/9期 実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
トヨタ	9,047	45.5	8,305	47.9	742	8.9
ダイハツ	554	2.8	505	2.9	48	9.5
日野自動車	267	1.3	254	1.5	13	5.0
トヨタグループ計	9,867	49.6	9,064	52.3	803	8.9
本田技研	1,365	6.9	1,193	6.9	172	14.4
G M	589	3.0	425	2.4	164	38.6
現代・起亜	547	2.7	392	2.2	155	39.5
フォード	476	2.4	308	1.8	169	54.8
スズキ	471	2.4	395	2.3	76	19.3
フィアット	424	2.1	318	1.8	106	33.3
クライスラー	409	2.1	293	1.7	116	39.5
マツダ	394	2.0	301	1.7	93	30.9
V W ・ A U D I	367	1.8	282	1.6	85	30.0
富士重工	349	1.8	357	2.1	△ 8	△ 2.2
いすゞ	293	1.5	230	1.3	63	27.4
日産自動車	247	1.2	194	1.1	52	27.0
三菱自動車	230	1.2	219	1.3	11	4.9
ベンツ	165	0.8	116	0.7	49	42.5
B M W	163	0.8	140	0.8	23	16.2
P S A	105	0.5	64	0.4	41	64.9
ジャガー・ランドローバー	80	0.4	65	0.4	15	23.4
その他メーカー	1,407	7.1	1,261	7.3	146	11.6
O E M 計	17,948	90.3	15,617	90.1	2,331	14.9
※ 市販・新事業他	1,930	9.7	1,714	9.9	216	12.6
合計	19,879	100.0	17,331	100.0	2,547	14.7

※ OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上等を含む

製品別売上

【単位：億円，％】

区 分	13/9期 実績(累計)		12/9期 実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ハ°ワトレイン機器計	6,927	34.8	5,918	34.1	1,008	17.0
熱 機 器 計	6,068	30.5	5,065	29.2	1,003	19.8
情 報 安 全 計	3,077	15.5	2,891	16.7	186	6.4
電 子 機 器 計	1,849	9.3	1,660	9.6	190	11.4
モ ー タ	1,389	7.0	1,264	7.3	125	9.9
そ の 他 ※	293	1.5	241	1.4	52	21.6
自 動 車 分 野 計	19,603	98.6	17,039	98.3	2,564	15.0
産業機器・生活関連機器	208	1.1	215	1.2	△ 6	△ 3.0
そ の 他 計	67	0.3	78	0.5	△ 10	△ 13.2
新 事 業 分 野 計	276	1.4	292	1.7	△ 17	△ 5.7
合 計	19,879	100.0	17,331	100.0	2,547	14.7

※ 設備売上、補修品、子会社オリジナルブランド製品等

設備投資・償却費・研究開発費

【単位：億円】

		13/3期		14/3期		13/9期	
		12/9期	実績	13/9期	予想	増減率	進捗率
設備投資	日本	594	1,243	684	1,310	15.2%	52.2%
	北米	82	205	211	390	157.3%	54.1%
	欧州	82	191	112	220	36.6%	50.9%
	豪亜	256	626	443	800	73.0%	55.4%
	その他	13	41	53	80	307.7%	66.3%
	合計	1,026	2,306	1,503	2,800	46.5%	53.7%
償却費	日本	602	1,315	587	1,350	△2.5%	43.5%
	北米	68	145	90	190	32.4%	47.4%
	欧州	50	107	68	140	36.0%	48.6%
	豪亜	96	222	139	290	44.8%	47.9%
	その他	10	23	15	30	50.0%	50.0%
	合計	825	1,811	899	2,000	9.0%	45.0%
研究開発費 (売上高比)		1,617 (9.3%)	3,355 (9.4%)	1,812 (9.1%)	3,700 (9.2%)	12.1%	49.0%